平成25年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月29日

上場会社名　パーク24株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4666　URL　http://park24.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 西川　光一
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営企画本部長　(氏名) 佐々木　賢一　TEL 03-3213-8900

四半期報告書提出予定日　平成25年9月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年10月期第3四半期の連結業績(平成24年11月1日～平成25年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年10月期第3四半期	113,320	11.0	13,495	6.6	13,404	9.1	7,684	15.7
24年10月期第3四半期	102,050	13.8	12,660	45.7	12,290	47.9	6,640	81.2

(注)包括利益　25年10月期第3四半期　7,919百万円　(28.6%)　24年10月期第3四半期　6,160百万円　(65.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年10月期第3四半期	53.32	51.76
24年10月期第3四半期	46.29	46.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年10月期第3四半期	127,374	51,248	40.0
24年10月期	117,808	47,893	40.4

(参考) 自己資本　25年10月期第3四半期　50,889百万円　24年10月期　47,544百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年10月期	―	0.00	―	35.00	35.00
25年10月期	―	0.00	―		
25年10月期(予想)				35.00	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年10月期の連結業績予想(平成24年11月 1日～平成25年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	155,000	11.1	20,500	15.1	20,000	15.5	11,200	15.8	77.68

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年10月期3Q	150,773,504 株	24年10月期	150,344,504 株
② 期末自己株式数	25年10月期3Q	6,460,897 株	24年10月期	6,460,837 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年10月期3Q	144,130,052 株	24年10月期3Q	143,436,306 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報・・・

１．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間（平成24年11月１日～平成25年７月31日）におけるわが国経済は、新政権による経済財政運営の期待を先取りする形で、過度な円高の修正や株価の回復が進み、貿易・サービス収支の赤字傾向は続いているものの、輸出や生産に持ち直しの動きがみられる状態となっております。

このような環境のもと当社グループは、快適なクルマ社会の実現に向け、ドライバーの方々の目線に立ったサービスを拡大することを目指し、当社グループが提供するサービスを「タイムズ」に統一するとともに、「駐車場事業」においては件数・台数の拡大を、「モビリティ事業」においてはレンタカーサービスの収益基盤拡大とカーシェアリングサービスの市場創造に努めてまいりました。

この結果、当第３四半期連結累計期間の当社グループの売上高は1,133億20百万円（前年同期比11.0％増）、営業利益134億95百万円（同6.6％増）、経常利益134億４百万円（同9.1％増）、ブランド変更費用を特別損失に８億79百万円計上し四半期純利益76億84百万円（同15.7％増）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

「駐車場事業」

東西の２事業本部制から地域別の３事業本部と法人営業本部へと組織変更を行い、街の核となる大型駐車場から、使いやすく利便性の高い小型の駐車場までドミナントの深耕を図っております。また、TONIC（タイムズオンラインシステム）データの分析を通じた駐車場運営の最適化のみならず、近隣店舗向けの駐車チケットの販売等、駐車場特性に応じたきめ細かい施策を継続して行っております。

この結果、当四半期連結累計期間末におけるタイムズ駐車場の運営件数は12,708件（前連結会計年度末比108.0％）、運営台数は428,429台（同108.2％）、月極駐車場及び管理受託駐車場を含めた総運営件数は14,135件（同107.4％）、総運営台数は531,960台（同107.5％）となり、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は899億99百万円（前年同期比9.0％増）、営業利益は183億61百万円（同6.0％増）となりました。

「モビリティ事業」

2013年４月よりレンタカーサービス「マツダレンタカー」を「タイムズ カー レンタル」へ、カーシェアリングサービス「タイムズプラス」を「タイムズ カー プラス」へブランド変更したほか、2012年11月にロードサービスを提供する㈱レスキューネットワークの社名をタイムズレスキュー㈱に変更致しました。また、ドライバー向け会員サービス「タイムズクラブ」のポイントサービスを、駐車場事業のお客様のみならずモビリティ事業のお客様にも対象を拡げて、より「たまりやすい」、より「つかいやすい」ポイントサービスに刷新しました。

タイムズ カー レンタルについては、店舗網の拡大、立地に応じた営業時間の延長による利便性の向上や法人向け営業の強化等に努めております。また、タイムズ カー プラスについては、展開

エリアに密着したプロモーションを実施したほか、配備車両の増加と運用システムの改善等により、さらに利用しやすい環境作りをすすめております。

この結果、当四半期連結累計期間末のモビリティ事業全体の車両台数は34,287台（前連結会計年度末比115.9%、うち、タイムズカープラスの車両台数は6,521台）、タイムズカープラスの会員数は239,919人（同159.6%）となり、当事業の売上高（セグメント間の内部売上高を含む）は234億34百万円（前年同期比19.5%増）、営業損失は３億38百万円（前年同期は６億17百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比95億65百万円増加して1,273億74百万円となりました。これは主として現金及び預金が21億54百万円、機械装置及び運搬具が40億79百万円、リース資産が11億54百万円増加したことなどによるものです。

負債合計は、同62億10百万円増加し761億25百万円となりました。これは主として転換社債型新株予約権付社債の発行により新株予約権付社債が200億円増加し、長短借入金が138億48百万円減少したことなどによるものです。

純資産は、四半期純利益の計上により76億84百万円、ストック・オプションの行使による新株の発行により４億61百万円増加したほか、利益剰余金の配当により50億35百万円減少したことなどにより、同33億55百万円増加し、512億48百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べて21億54百万円増加し、141億83百万円となりました。

当四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下の通りです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られたキャッシュ・フローは、136億37百万円（前年同期比29億88百万円の減少）となりました。主な内訳といたしましては、減価償却費を加えた税金等調整前四半期純利益247億28百万円に対し、法人税等の支払額94億63百万円があったことなどによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用したキャッシュ･フローは、104億82百万円（前年同期比８億43百万円の増加）となりました。これは主として、タイムズ駐車場開設や営業車両の取得に伴う有形固定資産の取得による支出74億97百万円、長期前払費用の取得による支出29億円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ･フローは、10億47百万円の資金の支出（前年同期比72億16百万円の支出の減少）となりました。これは、新株予約権付社債の発行による収入199億61百万円、長期借入れによる収入17億円があった一方、配当金の支払額50億38百万円、長期借入金の返済103億64百万円、短期借入金の純減53億43百万円、リース債務の返済24億22百万円等の支出があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年10月期の連結業績予想につきましては、「平成24年10月期 決算短信」（平成24年12月13日付）で公表した数値に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年10月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年７月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,044	14,199
受取手形及び売掛金	5,757	6,356
たな卸資産	620	708
その他	9,509	10,935
貸倒引当金	△40	△24
流動資産合計	27,891	32,175
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,689	12,358
機械装置及び運搬具（純額）	21,784	25,863
土地	24,657	24,303
リース資産（純額）	11,980	13,134
その他（純額）	3,646	3,750
有形固定資産合計	74,757	79,409
無形固定資産		
のれん	1,711	1,444
その他	1,092	1,153
無形固定資産合計	2,804	2,597
投資その他の資産	12,355	13,192
固定資産合計	89,917	95,199
資産合計	117,808	127,374
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,143	596
短期借入金	19,990	10,366
未払法人税等	5,801	1,924
賞与引当金	1,078	530
引当金	100	85
その他	16,440	20,783
流動負債合計	44,555	34,286
固定負債		
新株予約権付社債	1,000	21,000
長期借入金	11,401	7,177
退職給付引当金	800	716
引当金	262	267
資産除去債務	3,711	4,003
その他	8,183	8,674
固定負債合計	25,360	41,839
負債合計	69,915	76,125

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年10月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年７月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,435	7,666
資本剰余金	9,188	9,419
利益剰余金	41,653	44,301
自己株式	△9,343	△9,343
株主資本合計	48,934	52,044
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	37	66
土地再評価差額金	△1,052	△1,052
為替換算調整勘定	△375	△168
その他の包括利益累計額合計	△1,389	△1,154
新株予約権	348	358
純資産合計	47,893	51,248
負債純資産合計	117,808	127,374

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年11月１日 至　平成24年７月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年11月１日 至　平成25年７月31日）
売上高	102,050	113,320
売上原価	73,553	81,947
売上総利益	28,496	31,372
販売費及び一般管理費	15,836	17,877
営業利益	12,660	13,495
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	4	5
持分法による投資利益	4	0
駐車場違約金収入	46	32
未利用チケット収入	107	108
為替差益	－	120
その他	92	165
営業外収益合計	256	432
営業外費用		
支払利息	287	172
駐車場解約費	276	295
その他	62	56
営業外費用合計	625	524
経常利益	12,290	13,404
特別利益		
固定資産売却益	－	112
特別利益合計	－	112
特別損失		
固定資産除却損	－	14
ブランド変更費用	－	879
特別損失合計	－	894
税金等調整前四半期純利益	12,290	12,622
法人税、住民税及び事業税	5,023	4,587
法人税等調整額	627	351
法人税等合計	5,650	4,938
少数株主損益調整前四半期純利益	6,640	7,684
四半期純利益	6,640	7,684

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年11月１日 至　平成24年７月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年11月１日 至　平成25年７月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	6,640	7,684
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△33	28
土地再評価差額金	△431	－
為替換算調整勘定	0	70
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	135
その他の包括利益合計	△479	235
四半期包括利益	6,160	7,919
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,160	7,919

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年11月１日 至　平成24年７月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年11月１日 至　平成25年７月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	12,290	12,622
減価償却費	10,234	12,105
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△74	△84
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	29	5
受取利息及び受取配当金	△5	△6
支払利息	287	172
固定資産売却損益（△は益）	－	△112
固定資産除却損	－	14
売上債権の増減額（△は増加）	△269	△596
たな卸資産の増減額（△は増加）	461	554
仕入債務の増減額（△は減少）	△425	△547
未収入金の増減額（△は増加）	△24	333
前払費用の増減額（△は増加）	△568	△650
未払金の増減額（△は減少）	△283	△1,445
設備関係支払手形の増減額（△は減少）	474	389
その他	949	503
小計	23,074	23,258
利息及び配当金の受取額	5	7
利息の支払額	△294	△164
法人税等の支払額	△6,160	△9,463
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,625	13,637
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△16	△16
定期預金の払戻による収入	16	16
有形固定資産の取得による支出	△6,856	△7,497
有形固定資産の売却による収入	32	492
無形固定資産の取得による支出	△283	△345
投資有価証券の売却による収入	20	3
長期前払費用の取得による支出	△2,233	△2,900
その他	△320	△235
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,639	△10,482

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年11月１日 至　平成24年７月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年11月１日 至　平成25年７月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△9,527	△5,343
長期借入れによる収入	10,600	1,700
長期借入金の返済による支出	△4,381	△10,364
リース債務の返済による支出	△1,750	△2,422
新株予約権付社債の発行による収入	―	19,961
株式の発行による収入	1,077	460
配当金の支払額	△4,280	△5,038
その他	0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,263	△1,047
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	46
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△1,277	2,154
現金及び現金同等物の期首残高	11,981	12,028
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,704	14,183

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自 平成23年11月１日 至 平成24年７月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	駐車場事業	モビリティ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	82,458	19,591	102,050	－	102,050
セグメント間の内部売上高又は振替高	101	24	126	△126	－
計	82,560	19,616	102,176	△126	102,050
セグメント利益又は損失（△）	17,318	△617	16,700	△4,040	12,660

（注）１ セグメント利益又は損失の調整額△4,040百万円には、のれんの償却額△267百万円、全社費用△3,773百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

２ セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第３四半期連結累計期間（自 平成24年11月１日 至 平成25年７月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	駐車場事業	モビリティ事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	89,916	23,404	113,320	－	113,320
セグメント間の内部売上高又は振替高	83	29	112	△112	－
計	89,999	23,434	113,433	△112	113,320
セグメント利益又は損失（△）	18,361	△338	18,022	△4,527	13,495

（注）１ セグメント利益又は損失の調整額△4,527百万円には、のれんの償却額△267百万円、全社費用△4,259百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務部門等管理部門に係る費用であります。

２ セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。